

## 令和3年度第1回寒川町スポーツ推進審議会(書面会議)意見の集約について

### 議 題

(1) 令和2年度実績報告及び令和3年度事業予定について

<ご意見等>

意見、質問	回答
10月に実施されたスタンプラリーの評価について如何だったのでしょうか。	<p>コロナ禍ということで、集客型のイベントではなく、町内のスポーツ施設の利用や教室への参加といった分散型のイベントとして開催しました。</p> <p>実施内容は、1カ月間に施設の利用や教室参加を3回すると賞品獲得の抽選に申込みができるというものです。</p> <p>利用や参加した方は、延べ371人でした。</p> <p>スタンプラリーの目的としては、より多くの方がスポーツ活動を習慣化することのきっかけとしたいのですが、施設の利用や教室への参加した方は、令和2年10月1日現在の人口48,542に人の0.76%にあたり、令和元年度のスポーツデイ参加者が、1,427人と比較しても、その1/4にとどまったことから、評価としては、低くせざるを得ません。</p> <p>今回の結果は、より実績を上げやすい集客型のイベントが実施できないコロナ禍といった状況からの企画したものであり、馴染みのないものであることから、町民のみなさまに浸透しなかったのではないかと考察しています。</p> <p>今後のスポーツデイの実施については、スポーツ活動が制限され、運動不足に陥りやすいコロナ禍といった状況においても、その活動を推進する事業として展開することは、大変重要なことですので、引き続きスポーツ関係団体等の協力を得ながら、しっかりと構築していきたいと考えています。</p>

<p>フラットパーク移転について現状の活動内容や費用対効果について伺う。</p>	<p>昨年、11月より岡田から倉見に移転をし、BMXフラットランドに加え、スケートボードパークのセクションを整備し、「THE PARK SAMUKAWA」と名称を変更しました。</p> <p>なお、スケートボードパークのセクションは、東京オリンピックに出場した白井空良選手が設計を監修し設置されたものです。</p> <p>「THE PARK SAMUKAWA」は、町のストリートスポーツ普及推進事業を受託し、町民向けのBMXフラットランドとスケートボードパークの無料体験会や教室の開催、SNS等により動画の配信するなど寒川町の認知度を向上させるとともに町が推進しているストリートスポーツの普及をしています。</p> <p>令和元年度は、月に200人、令和2年度及び3年度は、新型コロナウイルスの感染拡大による利用制限を除くと月に約300人と順調に利用者が増加しています。</p> <p>特に町民の利用率は、令和元年度が22.4%、令和2年度が35.1%、令和3年度7月末現在で42.1%と町民にも浸透しつつあり、また、白井空良選手のオリンピック出場の効果もあり、各メディアを通して、全国に寒川町の認知度を広めたことなど、費用対効果は、高いものと認識しています。</p>
<p>令和3年度事業のその他の「ストリートスポーツ推進事業」は、何でしょうか。町民には響いてこないのですが。</p>	<p>令和3年度は、感染症対策をしっかりと行うことで、一部の事業を実施していますが、新型コロナウイルス変異株の出現等により、感染状況が悪化していますので、その状況をしっかりと見極め、事業実施の可否については、的確に判断していきたいと考えています。</p>
<p>令和2年度は、ほとんどの事業が中止となりましたが、令和3年度は、十分な感染対策を取り、一部でも教室が開催されたのは、よかったと思う。教室開催を待っていた方々が居ました。</p>	<p>令和3年度は、感染症対策をしっかりと行うことで、一部の事業を実施していますが、新型コロナウイルス変異株の出現等により、感染状況が悪化していますので、その状況をしっかりと見極め、事業実施の可否については、的確に判断していきたいと考えています。</p>
<p>コロナ禍で、ほとんどの事業が中止若しくは中止予定になっているのは残念です。感染拡大に伴い、ますますこの傾向が続くのではと心配です。やれないのではなく、どうやったらできるかを考えていただきたいです。アリーナがワクチン接種会場になり、多くのスポーツイベントが中止になったのも残念です。</p>	<p>現在は、新型コロナウイルスの新種株が流行し、若年層の感染が増加しています。</p> <p>小中学生にも感染が広がっている状況の中、部活動や大会も開催を見合わせており、学校施設の閉鎖も広がっています。</p> <p>5月から9月までメインアリーナをワクチン集団接種会場に使用し、スポーツ大会やイベントが開催できなかったことは、大変残念なことです。町民の命を守るのも町として重要な役割ですので、ご理解ください。</p> <p>なお、メインアリーナにつきましては、10月より開放いたします。</p>
<p>子ども達の運動機会が安易に奪われている現状を深刻に憂慮しています。(町内小学校体育館利用中止による)</p>	<p>現在は、新型コロナウイルスの新種株が流行し、若年層の感染が増加しています。</p> <p>小中学生にも感染が広がっている状況の中、部活動や大会も開催を見合わせており、学校施設の閉鎖も広がっています。</p> <p>子ども達の運動不足を解消することも大切ですが、まずは、子ども達の命を守ることは、町としましては、最優先に考えなくてはなりません。</p>

<p>一昨年あれだけ大騒ぎした「チャレンジデー」は、どうなったのでしょうか。</p>	<p>寒川町が参加して、令和元年度に5年目を迎え、実施目的が達成できたという判断により、令和2年度以降の参加を取りやめました。 その代わりに10月に行う「さむかわスポーツデー」の開催目的に「スポーツをするきっかけの機会をつくる」を明記し、チャレンジデーの要素を組入れています。</p>
--	--

(2) スポーツ施設の利用状況について

<ご意見等>

意見、質問	回答
パンプトラックは、オリンピックを見た子ども達が、刺激されて今後活用してくれるとよいですね。	寒川町出身の畠山紗英選手がBMXレーシングの日本代表として東京オリンピックに出場しました。テレビで観戦した子ども達が、これを契機にBMXに興味を持ち、利用が促進されることを期待しています。
ここには、学校や青少年広場などが取り上げられていませんが、担当が違うからでしょうか。(役所の縦割りではなく、町全体を見る目が欲しいです。)	学校施設や青少年広場の利用状況につきましては、スポーツ課では、把握していませんが、今後、担当課と協議の上、報告できるようにしていきたいと思います。
町の直接事業ではなくても、アリーナで開催している各種教室への参加もわかると良いのではないのでしょうか。	今後は、体育館での各種教室の参加状況も報告していきます。

(3) 町営プールリニューアルオープンについて

<ご意見等>

意見、質問	回答
審議会委員でオープン前に見学したかった。	審議会をプールのオープン前に行いたかったのですが、新型コロナウイルス感染症の拡大により、審議会も書面会議の開催となってしまいました。 今後、見学出来る機会を設けたいと思います。
民間運営となったが、プール開設期間が短いので、他の団体と組み合わせなどのイベント企画は検討されるか。	プールの運営は、指定管理者のハヤシグループが行います。 プールのシーズン期間は、2か月間(7月1日～8月31日)と短いですが、シーズンオフの利用については、ハヤシグループが自主事業で、ヨガ教室など様々な教室を行う予定です。
先日、寒川病院の前の道を浮き輪を持った子ども達が、たくさん嬉しそうに歩いていました。やっとプールが出来てよかったですね。	町内外問わず、多くの方が、利用者されました。 指定管理者の自主事業でウォーターアスレチックを設置し、有料(1コマ45分で500円 1コマの定員が30名)ではありましたが、大変な人気で予約枠を超える申込みがありました。 また、ウォータースライダーも好評でした。
先日、浮き輪も持って、ニコニコして町営プールに向かう親子を見かけました。平成25年に町営プールが閉鎖してから8年、多くの方々の御尽力に心から感謝申し上げます。	
待ちに待ったオープンでした。平成25年に閉鎖されたままの状況が長くあり、子ども達の夏の楽しみが大きく奪われたこの月日でした。再開して本当にうれしいです。	
コロナ禍で超過密、7月に利用したお母さん達が非常に心配していました。今時、全く規制にないのはここだけだとも・・・	緊急事態宣言発令後につきましては、8月6日より上限を500名として、午前と午後を完全入れ替え制を行い、過密となることを防ぎながら運営を行ってまいりました。 蜜となる更衣室のコインロッカーを間引きし、トイレ、ロッカーの定期的な清掃、空気の入替えを増やすなど感染防止対策を強化して、運営を行いました。
炎天下で日影がないので、テントを張るために朝から並ぶとお母さん達が言っていました。	日陰の施設が少ないので、指定管理者がパラソルを設置し、対応いたしました。 また、人工芝のエリアにテントを設置できるスペースを確保し、テントの貸出しも指定管理者が行っていました。
当初、駐車場が無しだったのを後日、図書館等の駐車場を案内できるようにして下さったのは、良かったです。ただ、水道記念館の駐車場は、閉鎖されたままでここを活用できないのかとお母さん達に聞かれました。	水道記念館は、休館し駐車場の利用はありませんが、さむかわ庭球場の駐車場としても位置付けており、スペースに限りがあることから、プールの来場者の利用を制限しています。 町営プールの近隣に駐車場として確保できる用地がないことで、当初は、駐車場を用意していませんでしたが、利用者の安全対策を考慮し、駐車場の案内を開始しました。

<p>腰洗い槽が無いのを心配するお母さんもいました。</p>	<p>旧町営プールには、設置されておりましたが、設置の義務がないため、今回の再整備では、設置をしませんでした。</p> <p>現在は、シャワーの設置が義務付けられており、今回は、腰洗い槽を改修し、シャワーを設置しました。シャワーを浴びてからプールを利用していただくよう案内をさせていただいております。</p>
<p>平成25年より休止していた町営プールのリニューアルオープンは、町民の皆様にとっても待ち望まれたことではないでしょうか。おめでとうございます。</p> <p>また、指定管理者制度の活用やハヤシグループの命名権取得により、町営プールの経営や運営にかかる費用や労力が民間の力を活用することになり、より効率的な運営やより質の高いサービスの提供が期待できるのではないのでしょうか。</p> <p>これかは、素晴らしいと思います。</p> <p>施設の愛称である「HAYASHIウォーターパークさむかわ」も親しみやすいと思います。</p> <p>ただ、資料3には、障がい者利用についての記載がありませんでした。どのようになっているのでしょうか。</p>	<p>障がい者の方の利用につきましては、受付に障がい者手帳を提示いただければ、介添者(1名分)の方も含め、利用料金は、無料となる制度があります。</p> <p>また、プール内で利用可能な専用車椅子も用意させていただいております。</p>

(4) さむかわ庭球場の再整備について

<ご意見等>

意見、質問	回答
利用者から喜ばれるきめ細かな運営体制を期待しています。	改修後は、指定管理者制度を導入する予定です。民間のノウハウを活用し、町民サービスの向上に努めます。
サーフェスがオムニ(砂入り人工芝)になること、夜間照明設備の整備、指定管理となることなど利用者増が見込まれると思います。期待しています。	砂入り人工芝にすることにより現在のコートより足腰への負担が軽減されます。仕事帰りの方も利用できるような夜間照明を設置します。
夜間照明設備が出来て、利用しやすくなり、また、指定管理者制度の導入でいろいろな教室等案が出てきて、多くの方が利用できることを望みます。	指定管理者制度を活用し、指定管理者の運営になった場合、民間のノウハウを活用し、各種教室等を開催し多くの方に利用していただきたいです。
夜間照明の完備は、利用者増につながる可能性が期待できる。	仕事帰りの方にも利用していただくことで、利用者の増加が見込めると考えています。
令和2年度さむかわ庭球場利用者数は、11,669人であり、令和元年度より、602人増えている。令和2年度は、3月より緊急事態宣言が発出されたにもかかわらず利用者が増えたことになる。寒川町の人口は、約48,000人なので、利用者が多いことがうかがえる。また、自粛生活が求められる中で健康増進に受けた機運が高まっているとも言えるのではないかと。「砂入り人工芝」「夜間照明」「指定管理者制度」の導入は、利用者数の促進や質の高いサービス提供に繋がると考えられている。また、「管理棟を町営プールと兼用する」ことも運営の効率化や運営費用の削減につながる。しかしながら、5面あったテニスコートが4面になることや、利用料金の設定額がどのように利用者数の促進に影響するのか(したのか)を正確につかむとともに、障がい者スポーツをどのように展開するかなどを町民に示す必要があると考えます。	コート数は、減少となりますが、利用時間帯を増やすこと及び、コート面を砂入り人工芝とすることで、雨による中止が減少すると考えており、利用者数については、増加するものと見込んでいます。障がい者の方、特に車いすを使用されている方に配慮し、施設内での段差解消などを行います。また、町テニス協会と協力しながら、車いすテニスにちなんだイベントなども計画していきたいと考えます。利用料金につきましては、近隣の状況を見ながら、決定していきたいと考えています。工事の状況等、広報やホームページなどを活用し、町民の方々に情報を伝えて行きます。

(5)その他

<ご意見等>

意見、質問	回答
スポーツ課に組織変更となり、競技を中心とするスポーツ振興と健康促進・増進や体力向上につながる楽しめるスポーツの企画立案を期待します。	健康・スポーツ課から健康づくりとスポーツをそれぞれの課として独立をさせ、令和3年度よりスポーツに特化した業務を行うこととなりました。 まずは、運動をするきっかけづくりを構築させ、競技力向上を目的とするスポーツ振興、健康増進や体力向上につながりながら楽しめるスポーツの推進を企画していきます。
既存施設を利用して競技人口拡大を図るべきではないか。	既存の河川敷にある田端スポーツ公園や川とのふれあい公園は、河川法の規制により、新たなスポーツ施設の設置が困難で、大きな大会やイベントが実施できないのが現状ですが、体育館などを利用して、観るスポーツなどの機会を増やすことでスポーツを始めるきっかけがつけられるような企画を検討します。
スポーツに親しめるイベントを開催して、人と人のつながりができるまちづくりを実現したいものです。	コロナ禍の中、イベントを開催することは、非常に難しいです。 コロナが終息しましたら、各種団体と協力しながら、イベントの開催が出来ればと考えています。
事業を推進するにあたって関係する団体と意見交換などを実施したらどうか。	体育協会をはじめ各種団体との意見交換は、大切であると考えています。
コロナ禍が、あとどのくらい続くのか・・・そうした状況で子ども達の運動機会の確保は、体と心の両面で非常に大事です。 安易に施設や小学校を閉めるのではなく、どうやったら出来るのかを前向きに検討してほしいです。 コロナ禍の後に子ども達のさまざまなストレスがどう出てくるか心配です。	現在は、新型コロナウイルスの新種株が流行し、若年層の感染が増加しています。 小中学生にも感染が広がっている状況の中、部活動や大会も開催を見合わせており、学校施設の閉鎖も広がっています。 子ども達の運動不足等を解消することも大切と考えておりますが、感染状況から、子ども達の命を守ることを優先しているところでございます。